

会津の三十三観音めぐり

2016年4月25日、「仏都会津」として知られる会津17市町村による「会津の三十三観音めぐり」が「日本遺産」第2弾に認定されました。会津の三十三観音や仏都会津に関する資料とともに、会津に仏教文化が花開いた背景として、平安初期、会津磐梯山の麓に慧日寺を開いた僧・徳一や、江戸時代に会津三十三観音めぐりを定めた保科正之に関する資料も併せて紹介します。

Rがついているのは図書館の中でご覧いただく資料です。貸出しておりません。

会津三十三観音に関するもの

	会津観音巡礼 よみがえる三十三カ所	平幡良雄／著	平幡良雄	1994	L186.8/H1/2
	会津三十三観音がコンパクトに紹介されています。				
	会津三十三所観音記	栗城喜代蔵／著	学習社	1979	L186.8/K2/1
R	会津三十三所観音記	神指村連合青年会／編	神指村連合青年会事務所	1954	L185/K1/1
	会津三十三観音の由緒、御詠歌の歌意が紹介されています。				
	会津三十三観音御詠歌	小島一男／編著	歴史春秋社	1978	L186.5/K1/1
	会津三十三観音、御蔵入三十三観音、町廻り三十三観音、猪苗代三十三観音の御詠歌が紹介されています。別冊付録では西国三十三観音御詠歌も収録されています。				
	会津三十三観音札所と塩川町寺院の御詠歌集	佐藤一男／編著	[佐藤一男]	1990	L186.5/S3/1
	会津三十三観音御詠歌と、塩川町(現喜多方市)寺院の御詠歌の紹介があります。				
	会津の観音巡礼	宮崎十三八／著	恒文社	1996	L186.8/M3/
	会津三十三観音と御蔵入三十三観音の紹介です。				
	温故知新 第14号	熱塩加納村郷土史研究会／編	熱塩加納郷土史研究会	2003	L216/A40/1-14
	p15-24「示現寺の由来と会津三十三観音」遠藤次男／著				
R	会北史談 第37号	会北史談会／編	会北史談会	1995	L216/K16/1-37
	p9-36「講演『松野千光寺跡経塚から会津三十三観音霊場へ』」伊藤正義／著				

日本遺産登録の観音・札所に関するもの

	「仏都会津」日本遺産認定 会津の三十三観音めぐり	福島民友新聞社広告局／企画・制作	福島民友新聞社	2016	L186.8/F6
	2016年6月16日の福島民友15-18面の特集記事です。「日本遺産」に認定された場所がわかりやすく紹介されています。				
	厩嶽山馬頭観音 三十三観音 会津総本山	玉水幸一／編	厩嶽山祭礼実行委員会	2004	L186.8/T1/1
	厩嶽山馬頭観音について、カラーでまとめられています。				
	奥会津三十三所観音紀行	舟木正義／著	歴史春秋出版	1995	L186.8/F3/1
	御蔵入三十三観音の巡礼紀行です。				
	奥会津 三十三観音 十番札所 大悲殿 小野観世音	南会津郡 下郷町 小野	[下郷町企画観光課]	2005	L188.6/S6/1
	御蔵入三十三観音第10番札所「小野観音」についてまとめられています。				
	大河ドラマ「八重の桜」の舞台「会津コロリ三観音祈願の旅」		オークラ出版	2013	L186.8/O5/1
	会津ころり三観音が大きく取り上げられています。仏都会津の仏についても記載があります。				
	町廻り三十三観音札所		婦人郷土研究会	1982	L186.8/F2/1
	下野街道 2009 No. 9	ヤマト企画	ヤマト企画	2009	L291.6/Y9/1-9
	p26-28「仏都会津の立木観音」藤田恵盛／著				

会津の仏教文化・寺・仏像

新編会津風土記 第1巻～第5巻		歴史春秋出版	1999-2003	L291.6/S16/
江戸時代に会津藩が作成した地誌で、会津領内の各村を調査するための基本的な文献です。その他1809年(出版者不明)、1893年(富田治作)の写本や「大日本地誌体系」(雄山閣1960、1977)等の所蔵があります。また、『福島県資料集成』(福島県史料集成編纂委員会/編、1952年)にも収録されています。				
会津寺院風土記 第1～5、8～10巻	会津寺院調査委員会/編	会津寺院調査委員会	1987-2011	L185/A2/1-
会津の寺院について地区別に建造物、文化財、主な埋葬者等とともに紹介されています。				
会津寺院散歩	横山秀夫/著	歴史春秋出版	2015	L185/Y4/1
会津のお寺さん 楽しく歩く三十カ寺	笹川寿夫/著	歴史春秋出版	1994	L185/S4/2
30カ所の寺がブックレットでコンパクトにまとめられています。				
会津のお寺さん	笹川寿夫/著	歴史春秋出版	2008	L185/S4/4
上記1994年版を改定したものです。「会津三十三観音御詠歌」等が追加されています。				
会津の古寺巡礼	宮崎十三八/著	恒文社	1996	L185/M4/
「在家佛教」平成6年2月号から7月号まで連載された「会津の寺々」に書き下ろしを加えた古寺巡礼記です。				
会津の寺 会津若松市・北会津村の寺々	笹川寿夫/[ほか]著	歴史春秋出版	1986	L185/S4/1
会津の寺 耶麻・河沼・大沼・南会津の寺々	笹川壽夫/編著	歴史春秋出版	1998	L185/S4/3
会津の寺々が地域ごとに紹介されています。				
会津美里町の寺院建築ガイド 2009年版	会津美里町教育委員会/編	会津美里町教育委員会	2009	L185.5/A1/1
江戸時代以前に立てられたものを中心に、会津美里町の寺院が紹介されています。				
会津の仏像 会津若松市史 17 文化編4 仏像	会津若松市史研究会/編	会津若松市	2005	L216/A42/1-17
数々の仏像が写真とともに紹介されています。徳一についても書かれています。				
会津の仏像ガイド 信仰の里・会津の仏ゾーンを訪ねる	あいづふるさと市町村協議会/編	あいづふるさと市町村協議会	2004	L186.8/A2/1
会津の仏教文化や歴史の他、工芸や能楽等会津の文化についても記載があります。				
会津の文化 会津の文人を追い求めて	笹川壽夫/著	歴史春秋出版	2008	L281.6/S6/1
會津 さとのぬくもり、歴史の余韻	歴史春秋出版/[編]	歴史春秋出版	2004	L291.6/R1/5
古寺巡礼や殿様別会津の歴史だけでなく、食や民芸等会津の文化についても広く取り上げられています。観光案内もあります。				
会津人群像 通巻10号	歴史春秋出版/編	歴史春秋出版	2007	L291.6/A49/10
p14-92,124で仏都会津の特集が組まれています。				
R 会北史談	会北史談会/編	会北史談会		
第38-48号「会津における石造三十三観音めぐり(その一～十一)」	佐原義春/著		1996-2006	L216/K16/1-
第49-53号「会津における木造三十三観音めぐり(その一～五)」	佐原義春/著		2007-2011	L216/K16/1-
トランヴェール	東日本旅客鉄道/編	東日本旅客鉄道		
第16巻第11号通巻188号 p6-28「特集 静かなる仏都、晩秋の会津に行く」			2003	L291.6/H9/1
特別号 列車の旅 旅の列車 p4-7「特集 仏都会津の原風景へ」			2007	L291.6/H9/9
Mon mo 2015, No. 58, 錦秋号	エス・シー・シー/[編]	エス・シー・シー	2015	L051/M3/58
p85-105仏都会津について、こころ三観音や三十三観音めぐりも扱っています。				

写真で見る仏都会津

会津の寺宝 会津仏教会創立百周年記念	福島県立博物館/編	福島県立博物館	2012	L069/F3/82
平成24年10月～11月に行われた福島県立博物館秋の企画展「会津の寺宝」の展示図録です。				
会津寺宝展 仏画を中心として	坂井正喜/監修	会津若松市文化福祉センター	1984	L186.7/A1/1
昭和59年に会津若松市文化福祉センターにより開催された「会津寺宝展」の図録です。				

会津の寺宝		歴史春秋出版	1984	L186.7/R1/1
上記「会津寺宝展」を中心に、それまで公開されなかった各寺院の寺宝を紹介したものです。				
会津の仏像 福島県立博物館企画展 シリーズ福島	福島県立博物館／編	福島県立博物館	1987	L069/F3/5-1
仏都会津 祈りの里の仏たち	藤森 武／〔撮影〕 民報印刷／編	福島民報社	2005	L748/F7/1

徳一 平安時代初期の法相宗の僧。磐梯山のふもとに慧日寺を開いたと伝えられています。

徳一草稿 東国化主・会津仏教の源流	笠井尚／著	會津人社	2005	L188.2/T1/8
徳一がいかなる人物だったのか、最澄や空海との間の論争について書かれています。				
徳一とその周辺 上・下巻	生江芳徳／著	〔生江芳徳〕	2007	L188.2/T1/11-
徳一と法相唯識	白岩孝一／著	長崎出版	2011	L188.2/T1/12
徳一菩薩と慧日寺	磐梯町／編	磐梯町	2005	L188.2/T1/9
徳一論叢	田村晃祐／編	国書刊行会	1986	L188.2/T1/4
徳一を尋ねて	白岩孝一／著	会津の文化づくり	2007	L188.2/T1/10
徳一について整理され、研究にあたって参考となる文献がテーマごとに紹介されています。				
徳一と恵日寺 ふくしま文庫 17	福島中央テレビ／企画・編	FCTサービス出版部	1975	L081.6/F3/17
徳一菩薩 ひと・おしえ・がくもん 歴春ふくしま文庫 52	高橋富雄／著	歴史春秋出版	2000	L081.6/R1/52
わかりやすい語り口で書かれた「徳一のすすめ」の書です。				
徳一菩薩 第二集 歴春ふくしま文庫 菩薩への道	高橋富雄／著	歴史春秋社	2001	L081.6/R1/52-2
徳一と最澄 もう一つの正統仏教	高橋富雄／著	中央公論社	1990	L188.2/T1/6
山家の大師最澄 日本の名僧 3	大久保良峻／編	吉川弘文館	2004	182.88/ニ#03Y/3
徳一と最澄の間で繰り広げられた法華権実論争について取り上げられています。				
勝常寺と徳一 みちのくに大き仏あり 歴春ブックレット18	笠井尚／著	歴史春秋出版	1997	L188.2/T/7
湯川村にある勝常寺と徳一について、ブックレット形式でコンパクトにまとめられています。				
中国僧青巖と高寺伝承 古代会津の仏教伝来に迫る	萩生田和郎／著	会津日報	2002	L185/H6/1
徳一菩薩と慧日寺の祈り エッセイ集2012	磐梯町／編	長崎出版	2012	L188.2/T1/13
R 会津会々報 第114号	会津会／〔編〕	会津会	2008	L/051/A2/1-49
p85-86「徳一開基の仏都会津に想う」築田直幸／著				
会津史談	会津史談出版部／編	会津史談会		
第77号 p39-62「道鏡禅師と徳一菩薩 その関係と事績の概要」酒井哲也／著			1992	L216/A21/31
第80号 p113-123「古代律令会津確立期の軌跡 ～大同二年徳一開基伝承の深意～」築田直幸／著			2006	L216/A21/34
月刊 會津人 第1巻第12～19號		會津人社	2004-2005	L216/A45/1-
「徳一と会津仏教の旅 (一～八)」笠井尚／著				
下野街道	ヤマト企画	ヤマト企画		
2002 No. 2 p36-37「左下観音開山、後世の空海と徳一論争」遠藤秀一／著			2002	L291.6/Y9/1-2
2006 No. 6 磐梯町編〔慧日寺と徳一〕			2006	L291.6/Y9/1-6



保科正之 会津藩初代藩主。「会津三十三観音めぐり」を定め奨励したと伝えられています。

R 伊洛三子伝心録 巻1～3	保科正之／著	保科正之	1672	L125/H1/2-
R 玉山講義	保科正之／著	会津学研究所	1937	L125/H1/4
R 二程治教録 上・下	保科正之／編	壽文堂	1668	L125/H1/1
文教政策の一環として、保科正之が刊行した『玉山講義附録』『二程治教録』『伊洛三子伝心録』は、藩の教学の基本文献として尊重されました。				
慈悲の名君保科正之 角川選書 458	中村彰彦／著	角川学芸出版	2010	L289/H1/30
保科正之	真壁俊信／著	精興社ブックサービス	2015	L289/H1/35
保科正之 民を救った天下の副将軍 歴史新書y 034	中村彰彦／著	洋泉社	2012	L289/H1/32
保科正之 徳川將軍家を支えた会津藩主	中村彰彦／著	中央公論社	1995	L289/H1/14

保科正之言行録 中公文庫	中村彰彦／著	中央公論新社	2008	L289/H1/28
保科正之公 江戸幕政の元老会津若松藩の祖	春日太郎／著	鳥影社	1985	L289/H1/10
保科正之公と土津神社 其の影響と治蹟	塩谷七重郎／著	土津神社神域整備 奉賛会	1988	L289/H1/11
保科正之の生涯と土津神社	小椋山六郎／著	歴史春秋出版	2001	L289/H1/20
保科正之のすべて	宮崎十三八／編	新人物往来社	1992	L289/H1/13
名君保科正之 歴史の群像 文春文庫 ナ29-2	中村彰彦／著	文藝春秋	1996	L289/H/17
名君・保科正之の生涯と土津神社	猪苗代の偉人を考える会／編 集	猪苗代の偉人を考 える会	2011	L289/H1/31
保科正之の生涯についてイラストつきでわかりやすく書かれています。				
名宰相保科正之 時代が求めるリーダーを育んだもの	森谷宜暉／著	高文堂出版社	2001	L289/H1/21
会津名君の系譜 悲運をバネに世界を唸らせた「無私」のリーダー像	原口泉／著	ウェッジ	2013	L281.6/H4/1
家光と二人の弟 三代将軍徳川家光、駿河大納言忠長、保科正之	森谷宜暉／著	高文堂出版社	2001	L289/H1/24
会津宰相蒲生氏郷・会津中将保科正之	蒲生氏郷まちづくり四〇〇年・ 保科正之入部三五〇年祭記念 特別企画展実行委員会／編	特別展実行委員会	1993	L289/G2/7
生誕四〇〇年記念 保科正之の時代	福島県立博物館／編集	福島県立博物館	2011	L069/F3/79
平成23年10月～11月に行われた福島県立博物館秋の企画展「生誕四〇〇年記念 保科正之の時代」の展示図録です。				
藩祖保科正之公と会津藩	会津武家屋敷文化管理室／編	博物館会津武家屋 敷	1996	L289/H1/19
平成8年会津武家屋敷により行われた特別展に関する資料です。				
歴史街道 1995年9月号	PHP研究所／編	PHP研究所	1995	L289/H1/15
p15-50「すごい名君がいた 保科正之」特集。23年間にわたって藩主不在だった会津藩が磐石だった理由などが論じられています。				
会津史談	会津史談出版部／編	会津史談会		
第62号 p188-194「藩祖・保科正之公のふるさと」内藤敏子／著			1992	L216/A21/16
R 第79号 p110-138「保科正之の幕藩政治改革ほか」橋本哲男／著			1992	L216/A21/33
会津人群像 第13号	歴史春秋出版／編	歴史春秋出版	2009	L291.6/A49/13
p20-23「会津藩祖保科正之が会津藩の礎を築いた」				
別冊歴史読本 21	新人物往来社／[編]	新人物往来社	2005	L289/H1/26
名君保科正之と会津松平一族について取り上げられています。				
R 蒙談 第35～37号	蒙談会／編	蒙談会	2002- 2003	L216/M8/1-
「名君 保科正之（上～下）信州が育んだ初代会津藩主」田村幸志郎／著				
歴史春秋 第73号	会津史学会／編	歴史春秋出版	2011	L216/R2/65
p4-22「保科正之とその時代」阿部綾子／著				

※この他保科正之を扱った文学作品もございます。

ホームページ

「日本遺産(Japan Heritage)」について(文化庁)		http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/
「日本遺産」についてはこちら。世界遺産や指定文化財との違い等について解説されています。これまでに認定された日本遺産も一覧で確認できます。		
極上の会津 特集コンテンツ「会津三十三観音めぐり」		http://gokujo-aizu.com/33kannon
極上の会津プロジェクト協議会 中央エリア(会津若松市観光課内)による特集ページ。札所一覧、札所MAP、モデルコースなども記載あり。		